

Handsome

JUNE 2015 No.318

侍魂
ひとつ

40th Anniversary

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 後藤太良
◆編集責任者/担当 副会長 白石博昭 ◆制作・編集 第40期広報委員会/委員長 福山輝展

5月例会開催

平成27年5月15日(金)米子全日空ホテルにおいて、〇〇委員会担当の5月例会が開催された。



冒頭の後藤会長の挨拶では、「こうして例会で挨拶をさせて頂くのはあと2回。広報委員会からの会長年度回顧文の依頼を聞くと、もう1年が経つのだなぁとしみじみ思う。あともう一踏ん張り！汗かいてしっかり活動して、7月には日本一美味しいお酒をみなさんと交わりたい。」と述べられた。

続いてトライアスロンタイムでは、盛政実行委員長がトライアスロンへの想いとボランティア部・マラソン部・A S部の活動内容を熱く語り、当会に対する期待を裏切らないよう頑張っていきたいと話され、委嘱状と委任状が各部長へと渡された。



5月例会は『会議手法を学んで組織を活性化～会議やらいや！2015～』と題し、組織強化・活性化に繋がる会議運営方法について二部構成で行われた。

第1部として『ミニセミナー ロバート議事法についてルールを学ぶ』というテーマで、



山口早苗会員によるロバート議事法についての分かりやすい解説からスタートした。

ロバート議事法とは、誕生から100年以上にわたって全世界のあらゆる会議に多く取り入れられている議事運営方法であり、公平と平等の精神をもつロバート議事規則は、今日世界各国の議会や組織において、最も標準的かつ権威ある議事法典として採用されている。組織全体の中における構成員の権利・均衡の上に成立し、これらの諸原則は4つの権利『過半数の賛成・少数意見の尊重・プライバシーの権利擁護・不在投票』を配慮し、これのもとに運営される・・ということを学んだ。

そして第2部では『寸劇による模擬会議』と題し、「よるのまち町内役員会」という設定で、様々なキャラクターに扮した現役会員による寸劇(模擬会議)が始まった。

まず1回目では、ロバート議事法が全く取り入れられていないダメな役員会を演じ、2回目では先程のNG会議をリピートしながら、問題点である箇所(議長の不在・遅刻・欠席・資料無し・同調の要求・年齢差による発言の制限等)を挙げ、どう改善すれば良いのかを



解説を挿みながら楽しく演じた。そして3回目はついにロバート議事法を取り入れ、効率良く進行していく、まさにお手本となる理想的な会議運営を見せてくれた。劇団〇〇委員会の演技力の高さに驚きつつ、会議手法という企業活動にも直結する本例会の内容は、経済人としてもとても参考になるものだった。



また当会の役員会・委員会でも活用されているロバート議事法だが、公平と平等の精神、そして4つの権利を改めて考え、今後の自分達の会社の活性化や中央会活動についても意識させられる例会となった。

(記事: 吉田通代)



5月例会を終えて

“〇〇” マルマル委員会 委員長 山崎 慎也



本年度、第40期〇〇委員会は、「個人の成長と会の活性化を図る！」を年間のテーマとして活動をして参りました。5月例会は、我々は青年経済人として、中央会活動や企業活動、また中央会を一步出ればPTAや他団体等の活動を通じ、今後も会議を開催したり参加する機会は非常に多く、年々増えていくものと考え、様々な会議手法がある中、中央会の役員会等でも取り入れられている「ロバート議事法」に着目し本例会を企画いたしました。

第1部では山口会員が講師の座学、第2部では、ハゲ坊主さんの脚本をもとに〇〇委員会ならではの生の寸劇を通じ、ロバート議事法の効果を見て頂く形で行いました。内容が内容のため、笑いを随所に入れておりましたが、中央会メンバーがあまり笑うこともなく逆に真剣な表情で聞いている姿を見て嬉しいような、悲しいような・・・。まともな戸田会員がその後の私の総評にプレッシャーを与えるかのように、びしっと決めて頂き大変締まった例会となりました。例会を行うまで、委員会メンバーには当然ながら時間が足りず、「〇〇委員会の〇〇は、“臨時”委員会が良いへん」等と皮肉られながらも臨時委員会を重ねましたが、最後の最後まで手を抜くことなく例会に臨めたのも〇〇委員会メンバーのお陰です。本当にお疲れ様でした、ありがとうございました！



“ボイジャー・オブ・ザ・シーズ”乗船！ (境港JC様 50周年記念式典にて)

5月19日(火)、青経連でも関わりの深い境港JC様の50周年記念式典並びに懇親会へ後藤会長、渡辺直前会長、長谷川副会長と私の4人で参加させていただきました。

なんと、記念式典は大型クルーズ船“ボイジャー オブ ザ シーズ”内のシアタールームでの開催！勿論、全員が未体験の事で乗船前からテンション(↑↑)、すぐさま記念撮影となりました。そんな中、後藤会長は・・・乗船チェックの外国人スタッフに流暢な英語で一言『サンキュー！』。

続いて、手荷物検査ではX線検査機にタバコを奪われ納得いかない様子でしたが、勿論スタッフには笑顔で『サンキュー！』。無事乗船し、エレベーターで5階へ。と、会長・・・エレベーターに同乗していた乗客にも笑顔で『サンキュー！』。全て『サンキュー！』で押し通す後藤会長の侍魂はクルーズ船の中でも健在でした。

式典では、過去5年の会長として山崎委員長や浜田会員が登壇され感謝状を受け取る姿を見ることができ、提言『7つの海(sea)』も境港ならではの素晴らしい内容でした。

懇親会は、夢みなとタワー駐車場特設会場での開催。テント張りに長テーブル、ステージは大型トラックの荷台と、初めは「え！？」と思いましたが、木村理事長より『ここは旅客船ターミナルの建設予定地。境港の未来を担うこの場所で是非とも開催したかった』との言葉があり、とても熱い思いを感じました。

やはり“浜っ子”の皆様は老若男女問わずお祭り好き？終始賑やかな雰囲気の中、素晴らしい時間を過ごさせていただきました。

(記事：秋里専務理事)



第35回全日本トライアスロン皆生大会 各部長意気込み



実行委員長 盛政春樹

まもなく熱くて暑い夏がやってきます！トライアスロン皆生大会に伴って西部青年中央会の実行委員長を務めさせていただきます盛政です。

今年のトライアスロンは、7月19日(日)です。すでにマラソン部・ボランティア部・AS部ともに開催日に向けて全力疾走中です。第35回の節目となる今大会は個人の部94名！リレーの部(昨年は団体の部でしたが今年から名称変更でリレーの部となりました。)60組！を定員として募集があり、出場される選手への力水として西部青年中央会の力は欠かせないものとなっています。とはいえ会員の減少に伴って各部の運営はとても大変です。各部長、副部長が中心となっていると工夫しながら準備にとりかかっています。こんなときの合言葉は『ALL中央会』、会員全員の力を『ひとつの握り飯』のように合わせ突き進むしかありません。私も外観と同じで足りないところがありますが、一生懸命頑張ります！皆様、ご協力の程どうぞ宜しくお願いいたします。



AS部 石原 効

2年連続TSC AS部部長をさせていただくことになりました石原です。

7月19日当日は、暑い一日になると思いますが、参加する選手を精一杯サポートし、競技に全力を出し切ってもらいたいと思います。

そして、選手をお手伝いする私たちも楽しみ、良い思い出を作ってもらえるように本田副部長・村田副部長と試行錯誤しております。

大会当日まで残すところ2カ月を切りました。中央会会員が一体となって第35回全日本トライアスロン皆生大会を迎えたいと思います。



ボランティア部 濱田 修

意気込みというよりも、頭にあるのは、課された責任を考え、やるべきことを一つずつきちんとやっていこうというシンプル且つ淡々とした思いです。ボラ部長としての責任には、大会ボランティアに対する責任、大会の競技委員としての責任、ボラ部員に対しての責任などがあると思いますが、この責任の重さに対し、一人でできることはごく限られていますし、100点満点の活動などないと思います。ですから、部内でそれぞれを補完しながら自分たちがするべき活動をしていく、当然のことですが、それに尽きると思っています。大会までご協力の程、宜しくお願いします。



マラソン部 今川圭一

皆様もご存じのとおり西部青年中央会は全日本トライアスロン皆生大会のボランティア並びに運営活動を通年事業として行っています。この素晴らしい大会のマラソン部部長を昨年に引き続きさせて頂けることを大変誇りに感じています。今大会では昨年以上にボランティア部、AS部と協力し合い、中央会一丸となり選手をサポートできればと考えております。早いもので今年も大会当日まで2カ月を切りましたが、準備を重ねメリハリをもって活動に取り組んでいく所存です！

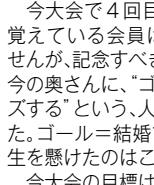
第35回全日本トライアスロン皆生大会に向けて！選手意気込み

福庭貴志



31回大会より「やんばい」「おんぼら」「まいしこ」「のぼせたくり」と壮行会泣かせのチーム名で皆生大会の底力を地元チームとして盛り上げてまいりました(つもりです)が、35回記念大会も出場権を頂き感謝の念と共に一層気が引き締まるおもしろい練習に励んでいます。今年も大会まで運営側、そして大会当日は選手として皆生大会を盛り上げたいとおもいます。今回も米子弁シリーズのチーム名で後藤(公)OB、スーパーサブ高田会員と共に大会に挑みます。5年連続完走&チーム記録更新目指して「進化するおっさんチーム」は頑張ります！応援よろしくお祈りいたします。

拝藤博幸



今大会で4回目の出場になります。覚えている会員は少ないかもしれませんが、記念すべき第1回目の大会は、今の奥さんに、「ゴールしたらプロポーズする」という、人生を懸けた大会でした。ゴール＝結婚です。私が、今まで人生を懸けたのはこの1回だけです。

今大会の目標は、友人・ライバルでもある白石会員とゴールすることです。会員・OB会員様たちと笑顔でハイタッチできるように全力で頑張ります。家族・仲間が待っているゴールへ……



写真は2回目に出場したときのゴールシーン

白石博昭



私の妹が20年前頃から皆生大会に出場していました。応援しながら本番の晴れ舞台を見るたびに、いつか私も出場したいと思うようになりました。ただ、何もしないせいで毎年出たいという兄を毎年叱る妹でした。8年前起業した時、自分の中で何が変わりました。「いつか」なんて時間は何処にもない。あるのは「今」だけ。」と確信し、やりたい事を「今」やろうと決めました。運良く、皆生大会にリレーの部が設けられました。そこで1年目にバイク、2年目にラン、3年目の昨年はスイムで出場させて頂き、満を持して今年、個人の部に挑戦します。とにかく時間内に帰ってくるよう、日々トレーニング中です！

高田典宗



私がトライアスロンに出会ったのは小学校の頃で、担任の先生がトライアスリートでした。大会当日に学校近くのバイクコース上で応援した記憶があります。

私は補欠参加となりますので、当日の出番がないことを祈るばかりですが、普段の仕事に加えボランティア部としての仕事と中央会の活動、更には家事育児etc…全てをこなして選手として出場される先輩方の背中を追いかけ、今年も自分に出来る限りの事をしたいと思っています。

新入会員オリエンテーションを受けて

平成27年5月20日コンベンションセンターにて、新入会員オリエンテーションを受けました。綱領唱和もままならない私にとって、青年中央会を知る為に非常に有意義な場となりました。

①今年度スローガン・テーマ②西部青年中央会の位置づけと組織について③年間活動内容・関連団体について④皆生トライアスロンと西部中央会の関わりについて⑤西部青年中央会の選挙活動に関する方針について⑥ホームページ・広報紙ハンサムについて等、諸先輩会員の方よりわかりやすく説明を受けました。多岐にわたる内容でしたが、スライドを使用され、又非常に噛



み砕いて説明されました。その後、旬門に会場を移し先輩方との交流会となりました。飲食を伴う和やかな雰囲気の中、中央会の活動を通じ自身がどのように成長したのか、何を得たのか?など、さらに意見を交換させて頂きました。当然に2時間の講義で中央会のすべてを理解したとは思っておりません。今後の中央会活動に積極的に参加することにより、より深く会の趣旨を理解し、人的交流も深め自身の成長に励んで行こうと思います。

み砕いて説明されました。

その後、旬門に会場を移し先輩方との交流会となりました。飲食を伴う和やかな雰囲気の中、中央会の活動を通じ自身がどのように成長したのか、何を得たのか?など、さらに意見を交換させて頂きました。

当然に2時間の講義で中央会のすべてを理解したとは思っておりません。今後の中央会活動に積極的に参加することにより、より深く会の趣旨を理解し、人的交流も深め自身の成長に励んで行こうと思います。

先輩会員におかれましては、お忙しい中を新入会員のオリエンテーションの為に時間を割いていただいたこと大変感謝いたします。(記事:待委員会 舛谷 剛)



卒会にあたって

河津 慎二会員(平成15年9月入会)

いよいよというかやっと卒会になるなあ~という気持ちが正直なところ。29期に入会し約12年間中央会活動をさせて頂きました。その中で役員も何度もさせて頂き、会長までさせて頂きました。諸先輩をはじめ多くの方から、色々なことを吸収し、成長させて頂きました。もし入会していなければ、今のような色々な角度からの考え方や、多くの人脈は出来なかったと思います。



懐かしい写真は30周年の記念撮影準備風景です。あの当時、40周年まで続くのかなあ~と先輩から言われ、生意気にも「必ず40周年はあります」と答えたことを良く覚えています。あれから10年、無事に40周年となり、何か良い区切りに卒会出来て嬉しく思います。

もうひとつの写真は38期の委員長・副委員長が6月30日にお疲れさまでしたの時の写真です。夜0時にはみんなでカウントダウンをして、無事に38期が終了したことのお祝いをしました。私みたいな会長に付いて来てくれて、皆様ありがとうございます。

本当に充実した活動が出来、色々なことを学ばせて頂いたことは、家族、会社、皆様のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。私が教えてもらった、やる時には中途半端ではなく精一杯やる!馬鹿する時にはハジける!メリハリのある活動をして、ぜひ50周年、60周年を目指してほしいと思います。

12年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。



これは オススメ

おすすめした人 戸田博之会員→おすすめされた人 藤井紘史郎会員
突然の悲劇の中での人生の選択。どんな状況でも、決して孤独ではない。どんなに辛い現実にも直面しようとも、生きてさえいれば、新たな希望を掴むことができる。17歳の少女の姿が感動を呼びます。(戸田)

『イフ・アイ・ステイ 愛が還る場所』

待委員会 藤井紘史郎

この映画は日常の生活に疲れた際に見ると、再度、がんばろうと思える内容だ。

主人公は17歳の高校生ミア。彼女はいま、人生最大の分かれ道に立っている。生か、死か——。選ぶのは彼女自身。交通事故で家族を一度に失い、彼女自身も昏睡状態にあるという状況のなか、思い出されるのはこれまで生きてきた17年の人生。そして、そうとは気づかず手にしていた、たくさんの幸せ。でも、溢れるばかりの愛情を注いでくれた両親も、可愛くて仕方がなかった小さな弟も、この世にはもういない。生きていくには、あまりにも辛すぎる現実だった。世界34か国で愛されるベストセラー小説の原作、クロエ・グレース・モレッツ主演。

17歳の等身大の人生は、そのまま見る人の人生に重なり、死を選ぼうとしている彼女に掛けられる言葉の一つ一つ、想いの一つ一つが自分のことのように胸を打つ。どちらを選んでも過酷な状況で彼女はいったいどちらを選ぶのか。その選択を知った時、これを見ているあなたは溢れる涙を止められないだろう。

この映画で学んだことは、『生きているからこそ何でもできる。』である。

祝 ご結婚おめでとうございます!

①新郎&新婦②お互い何て呼んでいますか?③お互いのどこに惹かれましたか?④旦那様へ質問「中央会のような経済団体に活躍する女性(奥さん)をどう思いますか?」⑤奥様へ質問「もっと女性も活動しやすい中央会になるには?」⑥一言

総務委員会 藤本満梨子会員(2015年4月30日入籍)

①増井幸一♥満梨子

②夫→妻:まりこ

妻→夫:彼の子供の頃のあだ名。(具体的には割愛させていただきます)

③夫→妻(社会的なところ)

妻→夫(行動力・実行力・優しさ)

④女性だから、男性だからと区別することなく、中央会が自分成長できる素晴らしい場所です。女性ですで大変とは思いますが、負担を背負いすぎない程度に、積極的に参加し頑張りたいと思います。

⑤待集団の中央会ですので、非常に言いにくいのですが、現在女性会員も増えていますが、実例が出た今、例えば産休制度などは検討してもらえると有り難いと感じます。

⑥両家の親族からの助言もあり、この春急遽結婚することになりましたので、お世話になった皆さんにご報告が出来てない事があり、驚かれた方もあるかと思いますが、温かい目でご寛容いただくと感謝いたします。まだまだ未熟な二人ではございますが、今後とも何卒ご支援ご鞭撻よろしくお願い致します。

※写真は4月30日の入籍時。



広報委員会 北島美佳会員(2015年2月12日入籍)

①石井寛信♥美佳

②夫→妻:番長

妻→夫:ひろくん

③夫→妻(あっさりした性格)

妻→夫(体が大きいところ)

④中央会についてあまり詳しくはありませんが、企業の代表として頑張っていると思います。⑤男性会員が圧倒的に多い中で、今でも十分にかけたいと思っています。まだ結婚したばかりで今後どのように生活が変わるのか想像していませんが、家庭の都合、体調の面でこれまで通りの出席ができるかが不安です。会員の皆様には、ご自分の奥様が中央会の会員だったら...と想像していただいて、その範囲でご容赦いただけたら嬉しいです。

⑥現在妊娠7か月です。皆様にはお気遣いやアドバイスをいただいて、いつも感謝しています。来期はご迷惑をおかけしますが、復活目指して頑張ります。1年間不在にいたしますが、米子全日空ホテルをよろしくお願いたします。

※写真は4月30日の出雲大社挙式。





“副メン” 座談会

第40期のハンサムもあと2回。何か面白い企画を！ということで5月25日、海王に第40期副委員長が集まり、今年度の振り返りをテーマに座談会を開催しました。

序盤は何を話すんだと言わんばかりの空気でしたが、それぞれ今現在抱えている状況の発表や意見交換からスタートし、副委員長として全く何をしていたか解らなかった年度当初の苦労や委員会資料の準備、役員会議事録の話など共感する話題で盛り上がりました。

委員会活動の振り返りや委員長との関わりについては、たくさんの面白エピソードが披露されましたが、ほとんどの話が人物が特定されるため公表は控えて欲しいと懇願されました(笑)。決して愚痴をこぼしたわけではありませんよ。「副委員長から委員長へ一言」というお題がありましたが、それは今年度が無事に終わるまで各副委員長の胸の中にしまっておきます。そして委員長へこっそり伝えたいと思います。

この度はハンサムでの企画でしたが、副委員長同士また集まって、この一年間の苦労話や、何よりも素晴らしい経験が出来た事、委員会裏話などを着に皆でうまいお酒を飲みたいと思います。

今回の座談会で語り合った内容がほとんど出ていない記事となってしまいましたが、次年度以降副委員長を経験される皆様におかれましては、副委員長会を開催されることをぜひお勧めします。同じ境遇で“ひとつ”になれる時間であり、自分自身成長が確かめられる場だと。未来の副委員長たちへアドバイスがあればと意見を求めましたが、やはりそこは「自力で経験してください」ということで、あえて言いません。そして、各委員長の皆様におかれましては、委員長と副委員長の関係性は特別な事と思しますので、今後ともよろしく願います！



余談ですが今回使用させていただきました覆面。ペアで2人の副委員長にお持ち帰りいただきました。活用方法はご想像におまかせします。(写真は海王が異様な雰囲気となった副メンたちの様子です。)

(記事:赤井宏之)

新事務所開設のご案内

鷺澤 淳一OB (第17期ご卒会)
株式会社 友和・保険センター 境港店
住所 〒684-0071 境港市外江町2361-2
TEL (0859) 21-0117 FAX (0859) 21-0118

鷺澤淳一OBが6月1日(月)境港に新事務所開設されると聞き、取材にお邪魔しました。鷺澤OBは仕事で保険に携わるようになって30年、支店を構えるのは目標の一つであったそうです。新事務所開設に当たり、今後の抱負などをお話いただきました。

【抱負】

「今までは一人で多くのおお客様の担当をさせて頂いていましたが、この境港店と本社を合わせ14名体制(境港店は4名)となり、今まで以上にしっかりとお客様のサポートが出来る体制となりました。後進を育成しつつ、この境港でも地域の核となる保険代理店を目指して頑張っていきます。」

【現役会員に一言】

「中央会に限ったことではないですが、人と人との繋がりが非常に大切だと思います。会にただ出席するだけでなく、仲間との貴重な出会いの場としてしっかり活かしてください。」

新店舗はお嬢様の美紀さんが店長として引っ張っていかれます。



保険のご相談の際はぜひ友和・保険センター境港店まで。事務所はTSUTAYA境港店の隣です。

本取材に伺ったのは新事務所開設の数日前。お忙しいところご対応頂いた鷺澤OBありがとうございました。

(記事:福山輝展)



6月役員会報告

6月役員会が平成27年6月1日(月)米子コンベンションセンターにて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・5月例会報告の件
- ・6月例会開催の件
- ・総会・卒会式、懇親会開催の件

※なお、詳細につきましては各委員長までご確認ください。

6月例会のご案内

と き : 平成27年6月15日(月) 19:00~21:15

と ころ : 米子コンベンションセンター 小ホール

内 容 : 第40期 委員会報告ならびに第41期 年度方針発表

担 当 : 第40期 広報委員会

編集後記

今月はおめでたい話題もありましたが、最近「神話婚」という言葉をよく耳にします。山陰には出雲大社をはじめとした神話にも登場するほどの由緒ある神社がたくさんあり、全国から挙式のためだけに訪れるカップルも多いとか。ここでも山陰のポテンシャルの高さを感じますね！

(広報委員会 高野真二)